DELCATEC

●このたびはＤＸアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

取扱説明書

ＤＸアンテナの製品を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

無線式防犯報知警報システム

ハイアラーム3X

技術基準認証品

受信警鳴部・主装置

SHA-300X

●本器は下記適用送信部と組み合わせて使用します。
本器単体ではどんな用途にも使用できませんのでご注意ください。また、ハイアラーム２シリーズとは互換性がありませんので組み合わせて使用することはできません。

●適用送信部

非常用押しボタンスイッチ送信部	SHA-50
人体検知器付送信部	SHA-100
非常用ペンダント形送信部	SHA-60
浴室用押しボタン送信部	SHA-70

本器は盗難防止器ではありませんので、万一盗難その他の事故による損害が発生しましても当社は一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

《安全上のご注意》

●ご使用の前に、この取扱説明書（安全上のご注意）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

絵表示について：取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

●指定された電源（AC100V 50/60Hz）以外は使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持って行なってください。コードを引っ張って抜きますとコードが破損したり、ショートしたりして火災、感電や故障の原因となります。

● 本器は、屋内使用ですので屋外で使用しないでください。感電、火災や故障の原因となります。

● ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししないでください。感電の原因となります。

● 本器をあけたり、分解したり、改造したりしないでください。けが、感電、火災や故障の原因となります。

● 不安定な壁面（壊れかけた壁など）に取り付けないでください。落下して、けがや故障の原因となります。

● 万一、煙が出ていたり、変な臭いがするなど異常状態で使用すると火災、感電などの原因となります。このようなときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜き、煙が出なくなるのを確認してからご購入店にご相談ください。ご自分での修理は、絶対にしないでください。

● 本器の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。

● 電源コードを引っ張ったり、傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）しないでください。
電源コードが破損して、火災、感電の原因となります。
コードが傷ついた場合（心線の露出、断線など）ご購入店に修理を依頼してください。絶対にそのまま使用しないでください。

● 万一、本器を落としたり、破損したり、異物や水などの液体が内部に入った場合は、すぐにコンセントからプラグを抜き、ご購入店にご相談ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

⚠注意

● 本器と市販の自動通報装置を接続する場合、お互いの取扱説明書をよく読み、ご理解してから接続してください。誤った接続をしますと非常時に自動通報装置が働かない場合があります。

● 本器は、直接日光の当たる場所、温風の吹き出し口、動作しているストーブなど高温になる場所などや水気の多い場所（お風呂場など）、埃の多い場所、油や煙のかかる場所（台所や厨房など）に設置しないでください。ケースの変形や故障の原因となります。

● 旅行などで長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントより抜いてください。

● 本器をお手入れする際は、必ず、電源スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。感電の原因となります。

1 はじめに

本器はハイアラーム３シリーズの非常用押しボタン送信部SHA-50または人体検知器付送信部SHA-100と組み合わせて使用します。

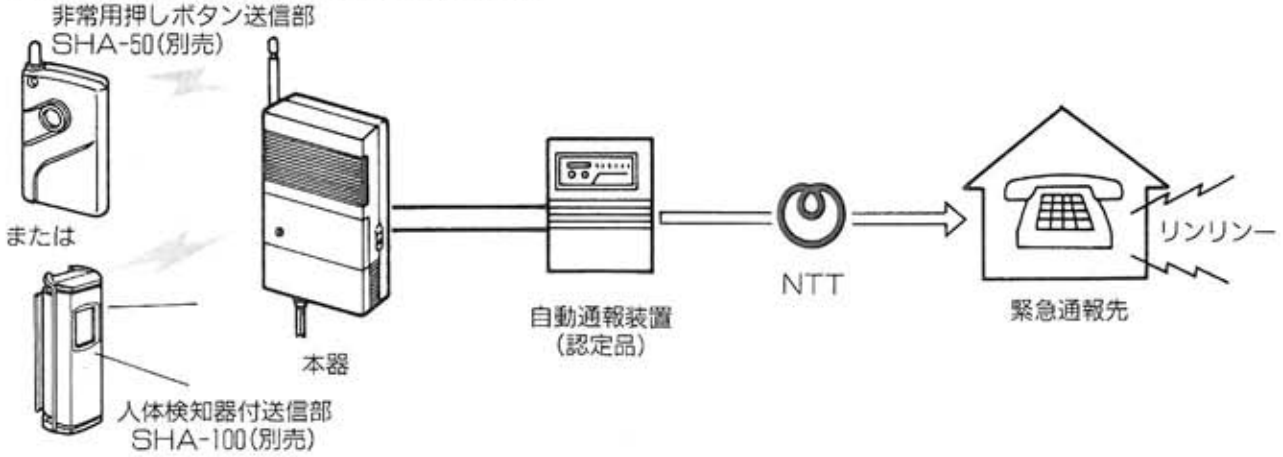
本器は非常用押しボタン送信部の送信ボタンを押したとき、または人体検知器付送信部が人体を検知時小電力セキュリティ電波を使用した信号を送信すると、この信号を受信し、自動通報装置等を介して電話回線などに接続し、遠隔地へ緊急通報を行うための無線送信装置です。

この無線装置は、配線をなくして電波で連絡しているため、システムの設置・増設が容易であり、かつ、お部屋の美観を損じないという特長を有しています。

2 電気通信回線への接続

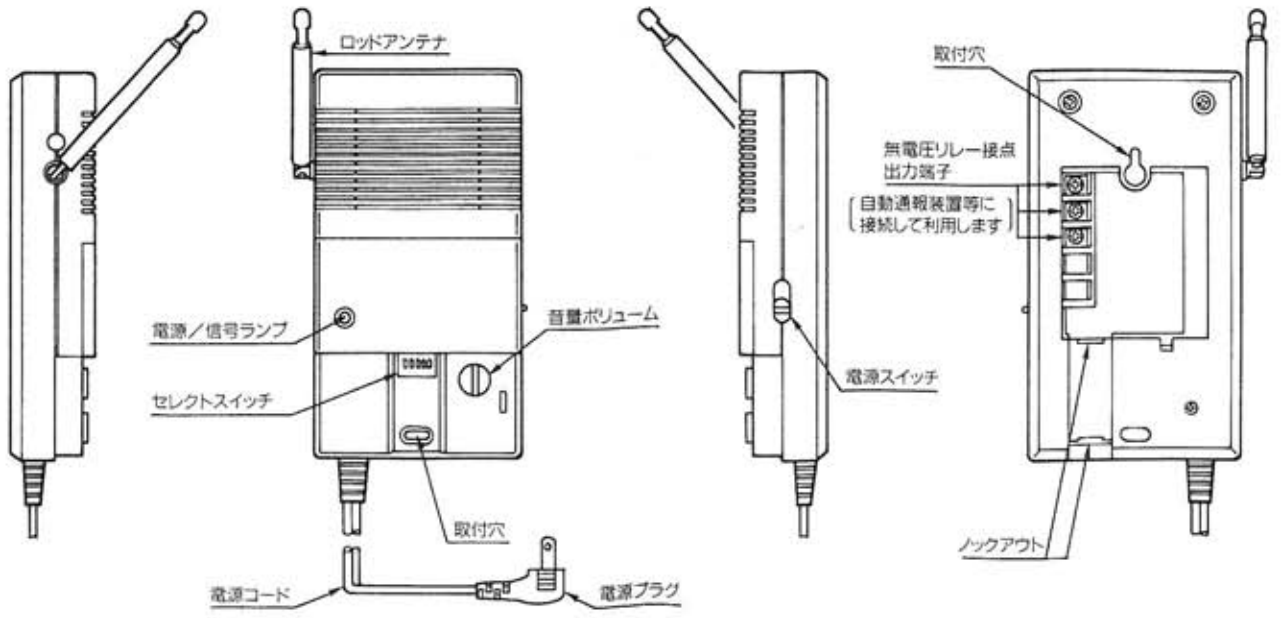
この無線装置は、電気通信回線に接続して使用するものです。ただし、本器は自動通報装置等（技術基準適合認定品に限ります。）を介して電気通信設備に接続して使用するため、利用する回線の種別は特定していません。

本器の自動通報装置等（認定品）への接続は、本器の無電圧リレー接点出力端子を自動通報装置等（認定品）のセンサ入力端子へ接続してご使用ください。



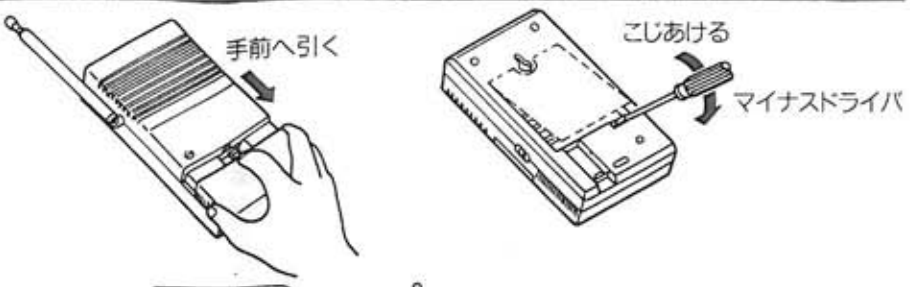
3 各部の名称

● この項の説明は、製品本体からフタをはずした状態を示しています。フタの開け方は㉔ご使用方法をご参照ください。



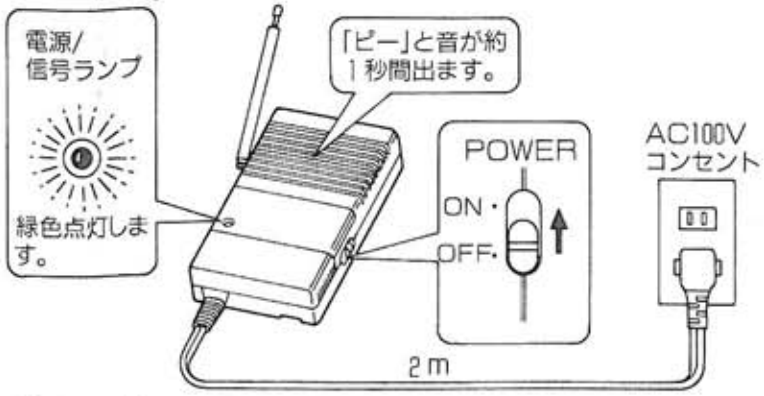
4 ご使用方法

1．フタの開け方



2．電源

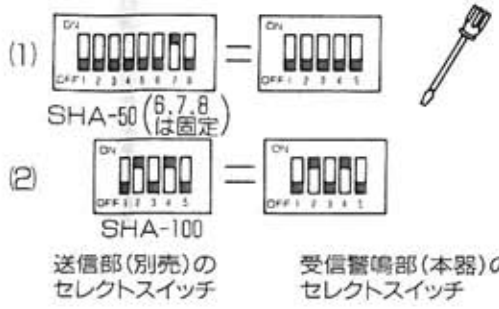
●AC100Vを使用します。
右図のようにAC100Vコンセントへ本器の電源プラグを差込んでください。
電源スイッチを「ON」にすると、電源/信号ランプが緑色点灯し、同時にスピーカより「ピー」と音が約1秒間出ます。これは故障ではなく、操作確認音です。



3．セレクトスイッチ

●本器のセレクトスイッチと別売の送信部のセレクトスイッチとは必ず同じ組み合わせにしてください。違っていますと動作しません。なお、本器に電源が入った状態でセレクトスイッチを操作しますと操作ごとに「ピー」という音が約1秒間出ます。これは上記2同様、故障ではなく、操作確認音です。

≪例えば――≫



●設定は先のとがった小形ドライバなどの先で行なってください。

(注1) セレクトスイッチの設定の組み合わせは、上図の組み合わせを含めて32通りあります。
(注2) 隣近所に他のハイアラーム3X又はハイアラーム3Zシリーズが設置されますと、混信して誤動作することがあります。このような場合は、セレクトスイッチの組み合わせを変えれば解決できます。

4．音量ボリュームと報知音

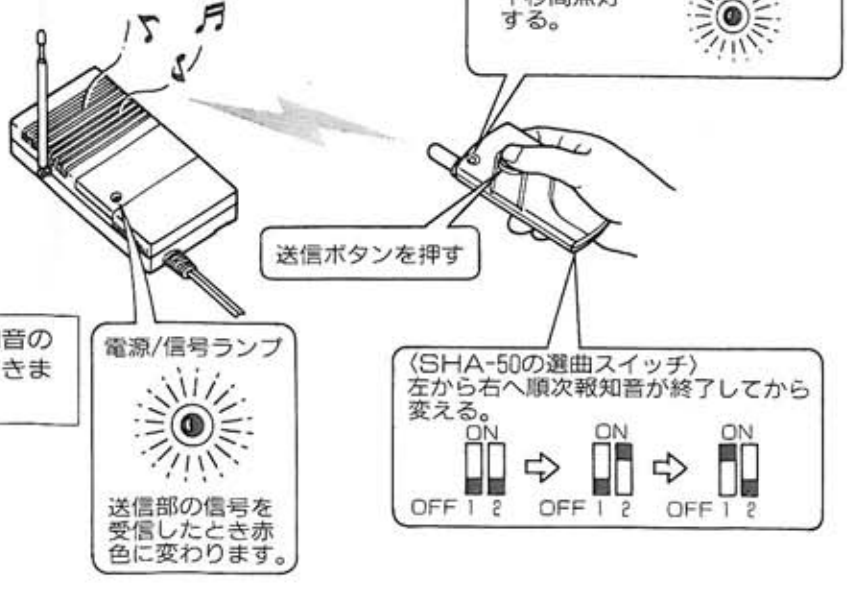
●本器の報知音は下記のように別売の送信部SHA-50またはSHA-100で確認してください。
※確認する前に必ず送信部の取扱説明書をお読みください。

MIN…音は出ません
MAX…75dB/m

音量は音量ボリュームによりお好みの大きさに調整してください。

《別売の送信部との報知音の確認方法》

(1) SHA-50(別売との確認方法)

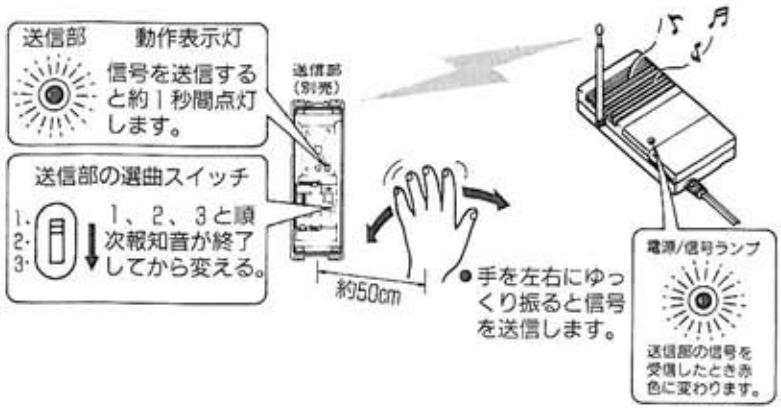


送信部の電池が消耗してきますと、本器の報知音の音色が変わってきます。もし、音色が変化してきましたら送信部の電池を確認してください。

ー送信部の選曲スイッチと報知音の関係ー

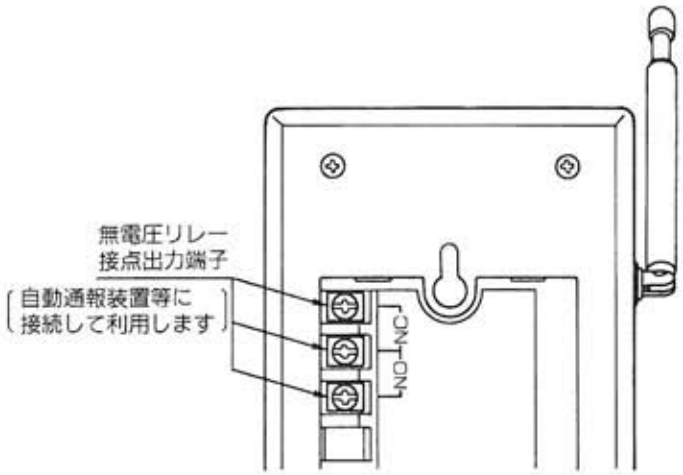
送信部		本器の報知音
SHA-50の選曲スイッチ	SHA-100の選曲スイッチ	
ON OFF 1 2	1	ピンポン
ON OFF 1 2	2	ポロロン
ON OFF 1 2	3	ピッピッピッ

(2) SHA-100(別売)との確認方法



5．無電圧リレー接点出力端子

●送信部からの信号を受信すると無電圧リレー接点出力端子(NO端子とNC端子：C接点端子)は待機状態から動作状態(→方向)になります。動作状態になっている時間は約3秒です。この時間が過ぎるともとの待機状態(⇦方向)へ戻ります。詳しい使用方法は囲使用例2．無電圧リレー接点出力への接続の項を参照してください。



(注1)　無電圧リレー接点出力と報知音発報は、送信部が信号を送信すると、同時に動作します。無電圧リレー接点出力だけを使用する場合は音量ボリュームをMINの位置にして音量をゼロにしてください。

(注2)　無電圧リレー接点出力は、送信部が複数設置されていると、どの送信部に対しても動作し、判別できません。

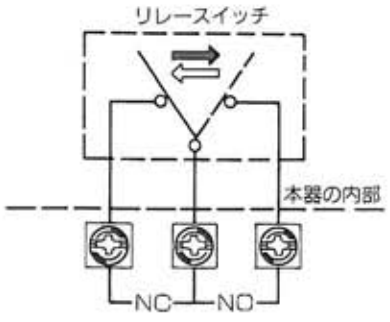
(注3)　無電圧リレー接点出力の容量は下記の通りです。下記の数値以上の電圧・電流を加えないでください。故障の原因になります。

無電圧リレー接点出力容量	AC50V 0.2Aまで DC24V 0.2Aまで

ー無電圧リレー接点出力の動作ー

無電圧リレー接点出力端子	待機状態	動作状態(約3秒)
NO端子	オープン(開) ⇦	→ ショート(閉)
NC端子	ショート(閉) ⇦	→ オープン(開)

ー無電圧リレー接点出力の構成ー

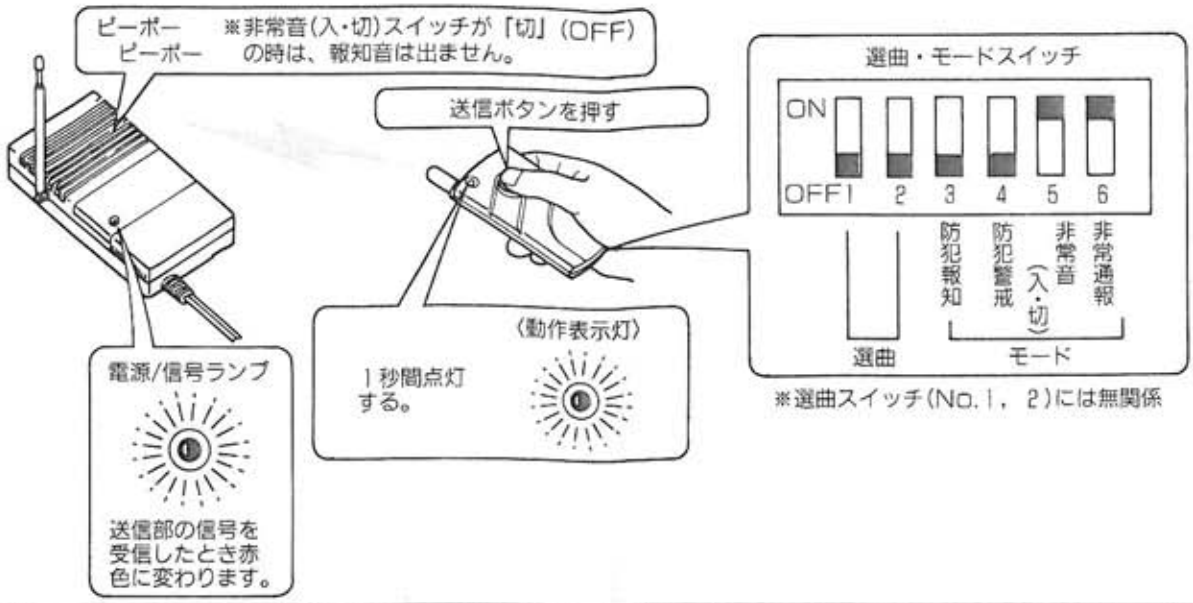


6．非常通報モード

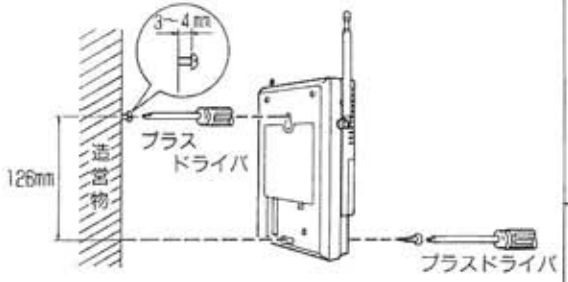
このモードは、別売の送信部SHA-50と組み合わせて使用する場合に設定できます。

●別売の送信部SHA-50のモードを『非常通報』モードで『非常音』を入(ON)に設定してください。
送信部の選曲スイッチに関わらず非常音(ピーポーピーポー)を発報します。
『非常音』を切(OFF)に設定した場合、非常音は発報しません。
電源／信号ランプは、『非常音』スイッチの入・切に関わらず信号を受信すると3秒間赤色で点灯します。

※リレー接点出力端子に自動通報装置や外部警鳴部(別売)など接続して非常通報モード時に本器が信号を受信したことを確認できる場合を除き、送信部SHA-50の『非常音』スイッチは、入(ON)に設定してご使用ください。『電源／信号ランプ』のみでの確認では見落とす場合がありますのでご注意ください。



5 取付方法



<取付上の注意点>

●TV、パソコン、ワープロ、ラジオ、電子レンジやモータを内蔵した換気扇、冷蔵庫、洗濯機などから2m以上離してください。

●熱気が直接かかる場所には設置しないでください。

●鉄板、金網などが入っている壁や電灯線、配水管などとロッドアンテナが平行になるような場所への取り付けは避けてください。

6 使用例

1. 送信部(SHA-50×1台とSHA-100×2台)との組み合わせ

3か所の侵入場所が報知音で区別できます。

<玄関>

SHA-100

●選曲スイッチ「1」に設定

<応接間>

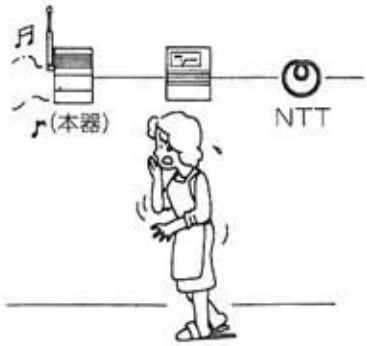
SHA-50

●選曲スイッチ

<ガレージ>

SHA-100

●選曲スイッチ「3」に設定

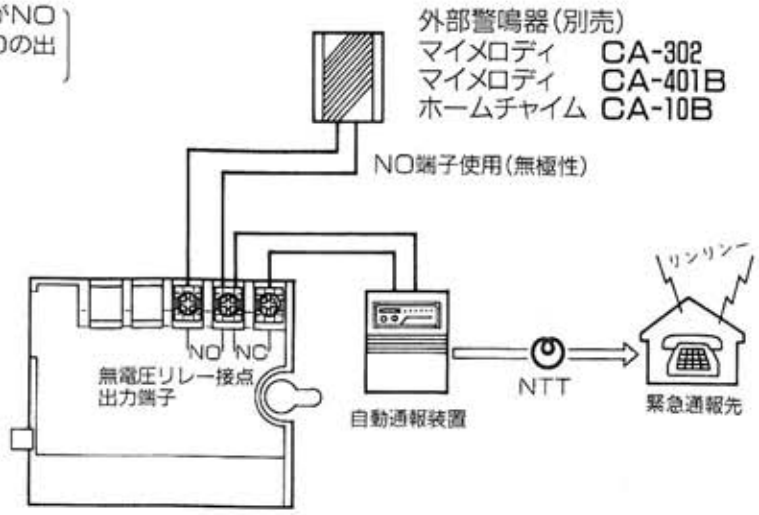


2．無電圧リレー接点出力への接続

右図のように自動通報装置等のセンサ入力端子へ接続することにより、緊急通報先(知人宅、会社、ポケベル等)へ連絡することができます。

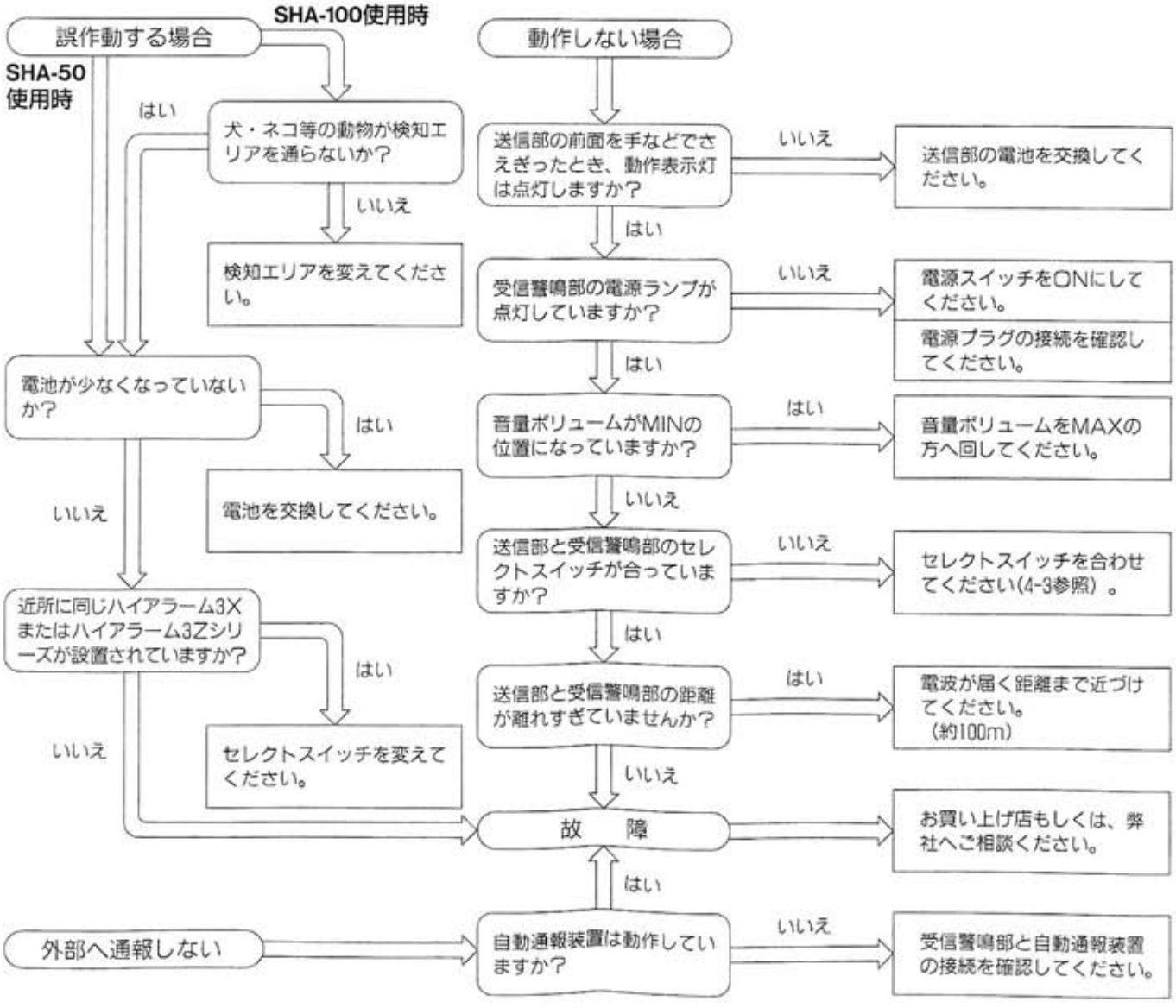
(自動通報装置等によりセンサ入力端子がNO入力のものもあります。その場合は、NOの出力端子と接続してください。)

電源内蔵形の外部警鳴部(別売)の使用例



7 機能点検要領

● 本器が動作しない時、または誤動作する場合は、故障と判断する前に下図に従って点検してください。



8 使用上のご注意

●本器と送信部(別売)との電波到達距離は約100mです。ただし、取付場所、昼夜の別により到達距離は、短くなることがありますので、取り付け時充分確認してください。

≪特 に 注 意≫

- ●送信部と受信警鳴部の間にスチールドア、鉄筋コンクリートなど金属製の障害物がある場合。
- ●送信部または受信警鳴部の取付面が金属製の場合。
- ●放送局などの強い電波を出している場所の近く。
- ●高圧線などの電気的ノイズを多く出している場所の近く。
- ●本器のロッドアンテナがいっぱいまで伸びていない場合。

●本器のお手入れは柔らかい布で空拭きするか、中性洗剤を薄めた水で拭き取ってください。ベンジン・シンナーなどの薬品は、表面の変色、変形の原因となりますのでご使用しないでください。

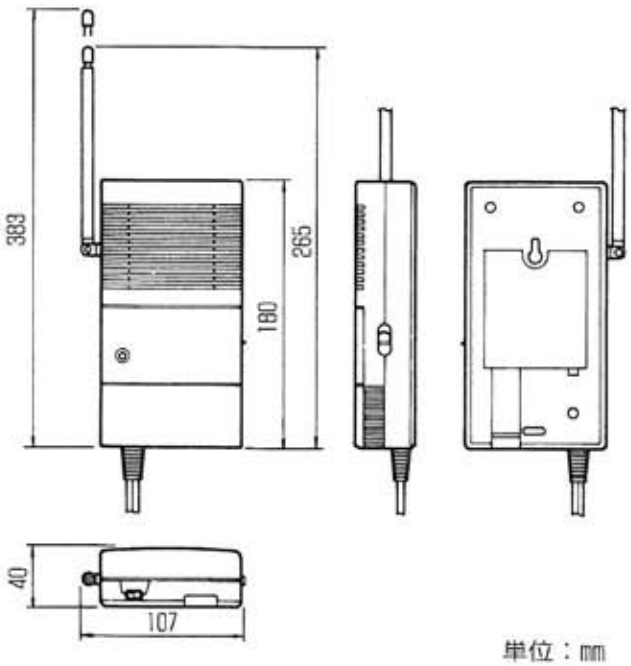
●本器は、従来のハイアラームおよびハイアラーム2シリーズとは、互換性がありません。このため、これらと組み合わせて使用できません。

9 仕 様

小電力セキュリティシステムの無線設備 受信警鳴部・主装置 SHA-300X	
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時 1.5W 動作時 3W
受信周波数	426MHz帯
出力	1.○報知音：3音 ○非常音：1音 (1) ピンポン (2) ポロロン ピーポーピーポー (3) ピッピッピッ 音量：0～75dB 可変(前方1m) 2.無電圧リレー接点出力(NO、NC接点) 最大接点容量：AC50V、DC24V、0.2A
電源/信号ランプ	通電時：緑色灯 点灯 受信時：赤色灯 点灯
使用温度範囲	−10℃～+40℃
質量	530g
設置場所	屋内壁面
付属品	木ネジ 2本

●仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

〈外 形 寸 法〉



単位：mm